

日本労働者協同組合連合会 25周年記念企画 国際シンポジウム

尊厳ある労働の社会的実現へ

2004.9.18 国連大学ウ・タントホール

主催 日本労働者協同組合連合会

共催 協同総合研究所・協同労働法制化市民会議

特別協力 国際労働機関(ILO)駐日事務所



日本労働者協同組合連合会は創立25周年記念国際シンポジウムを9月18日、東京・国連大学ウ・タントホールで開き、268人が参加しました。シンポジウムでは連合の笹森清会長が連帯のあいさつ。ILO（国際労働機関）駐日代表の堀内光子さんをコーディネーターに、ILO協同組合部長のユルゲン・シュベットマン氏、イギリス協同組合連合会全国戦略コーディネーターのヘレン・シーモア氏が報告。日本側からは、連合の中嶋滋総合国際部長、東京商工会議所の川村耕太郎常任参与、日本労協連菅野正純理事長がパネラーとなり、日本のワークス・コープの四半世紀の歩みを踏まえて、「ディーセント・ワーク」「地域再生・就労創出」「協同労働法制化」の3つのテーマを深め、この運動をさらに広範な働く人々・市民の取り組みに飛躍させることを決意しました。